

報告書概要

1 事故の状況

- (1) (株)テレビ宮崎のテレビジョン放送（アナログ及びデジタル）において、平成19年8月15日(水)15時47分20秒～16時52分（約1時間4分）の間、演奏所（※）設備の不具合により放送が中断した。
※ 放送番組を制作・編集し、その番組を送信所または他の放送局へ送出する所。
- (2) 画面が静止画の状態となりアニメ等2番組が放送できず、また、その後手動操作により復旧したものの、19時までCMの一部が放送できない状態となった。
- (3) 影響は宮崎県下約44万世帯に及び、テレビ宮崎への問い合わせ電話だけでも約600件に上った。

2 事故の原因

- (1) 放送設備を制御する系統（制御LAN）が単体設備（1BUSリモコン）の不調により異常をきたし、系統を二重化しバックアップする体制となっていたにもかかわらず、手動操作を含め放送設備の一切の操作が不能となった。
- (2) 設備メーカーにおいて調査した結果、1BUSリモコン内部の部品の不備（①CPUのプログラム（ソフト）の設定誤り、②LAN-ICの異常動作）が原因となり、制御LAN上へ連続して異常信号が送出されたため、制御LANが機能しない状態となったことが判明した。

3 再発防止策

- (1) 原因となった単体設備（1BUSリモコン）のソフトウェア改修や機能追加を行うとともに、万一今回と同様にバックアップ体制が機能しない場合でも、手動で放送を維持できるようにするため、自動番組制御システム（APS）とは無関係に動作する迂回路を新たに追加した。
またこれまでの緊急時対応マニュアル等の整理や社員の訓練等を実施するなど運用面の対策を行った。
- (2) システム面の具体的な対策は以下のとおり。
 - ① 1BUSリモコン内のCPUプログラムの修正
 - ② 1BUSリモコン内のLAN-IC異常動作時のリセット回路の追加
 - ③ 1BUSリモコンへのアラーム通知機能の追加
 - ④ 1BUSリモコンアラームの監視装置への通知機能の追加
 - ⑤ 現行のAPSとは無関係に動作する迂回路の構築
- (3) 運用面の具体的な対策は以下のとおり。
 - ① 運用マニュアルや緊急時対応マニュアル等の整理
 - ② 緊急時の社内連絡体制の確認
 - ③ メーカーへの連絡体制の確認
 - ④ 手動による迂回路の運用訓練の実施等